



第33回 市教組定期大会、開催される！NO.6

（近藤代議員による総括討論のつづき）

私は平和学習の中で、子どもたちに本当の歴史を伝え、「それを忘れてはいけないこと」、そして「この平和をあなたたちの力で守ってほしい」ということを常々子どもたちに伝えている。私たちは「教え子を再び戦場に送るな」の原点に立ち、学んできたことを伝えていくこと、これは教師としての使命である。

職場の多忙感は全く改善されていない。おさわり程度の ICT。なんとなくの外国語。そのためどれだけ現場教師が振り回されているか。今の教育に限界を感じ現場を去って行く教師もいる。

教師も子どもも下を向き、タブレット画面をみて授業が進められていく…ほんとうに悲しくなる。

子ども同士のふれあい、自分の思いを自分の言葉でみんなの顔を見て話し合うことが必要だ。子どもたちは、そこに信頼感を求め、自分の居場所を見つけることができる。これからの社会では「コミュニケーション能力」と「計画的に物事を進めることができる力」が大切だとわたしは思う。

人事評価制度、絶対に反対である。今の管理職の力のなさ、生徒指導もできない現状にうんざりしている。保護者との関係、子どもとの関係づくりを築こうとしないがゆえの問題も多々あり、そのような方から私は評価を受けたくはない。

そんな管理職に気に入られ、声をかけられ、実績関係無しに主幹教諭や指導教諭になっていく若い先生たち。それぞれの道は勝手だが、そこに「給料」という労働者で一番だいじなことがからんでくることが納得できない。

最近、このような色々な愚痴を女性部 LINE にグチっている。すぐに温かい返信やリラックスできる写真や動画も送られてくる。力をもらえるし、「一人じゃない！」と、また前を向ける。

教研や学習会に参加し学んだことは、私の血になり肉になり、自信となった。だから、自信をもって授業をやることができる。

先日、城井崇議員が分会長会に来られて、現場の私たち声を聞いていただいた。そして、国会につなげていくことを約束してくれた。

小宮けいこ市議も機会あるごとに分会長会に参加し、わたしたちの現場の声を聴き、市議会の情報を教えてくれる。だからこそ、来たる北九州市議会議員選挙では、わたしたちの思いに寄り添い、市議会で質問をし、教育委員会や教育長に物申してくれる小宮けいこ市議の再選をめざして、わたしたち一人ひとりが、がんばっていかなければならない。

最後に、私はこれからも組合員であることに誇りを持ちがんばっていく。



NO.17 へつづきます

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！



///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

